



みどりの里

宇奈月小学校だより

第6号

令和5年10月13日

目指す子供像 うんとかながえる子 なかよくする子 つよいからだの子 きれいなこころの子

黒部市立宇奈月小学校 〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山205番地1
TEL(0765)65-2288 FAX(0765)65-2800

U R L <http://www.tym.ed.jp/sc13/>
E-mail unazuki-es@tym.ed.jp

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年度の全国学力・学習状況調査は、4月18日、全国の小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒を対象に実施されました。本校でも、6年生26名が参加しました。

この調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態を明らかにすることにより、今後の指導内容・指導方法の改善や生活指導等に役立てることを目的としています。内容は①教科に関する問題（国語、算数・数学）と、②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査に分かれています。

結果を受け、本校の児童の優れた点や、課題となる点を見直し、今後の学習指導、学習習慣の改善に生かしていきたいと思えます。また、6年生には、個人票、調査問題用紙を配付します。

なお、今回、6年生が取り組んだ調査問題や正答例は、文部科学省、国立教育政策研究所のホームページ（今号に添付したQRコード）からご覧いただけます。

国立教育政策研究所

令和5年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について

<https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm>



生活や学習環境に関する児童質問紙調査より

（○肯定的な回答の割合が高かった項目 ▲課題がみられる項目）

★基本的生活習慣

○朝食を毎日食べている。

○毎日、同じくらいの時刻に起床、就寝している。

ほぼ同じ時刻に寝て、睡眠時間をしっかりと確保することで生活リズムが整います。睡眠時間（8時間以上）をとり、望ましい生活習慣がしっかりと身に付けているようです。一方、就寝時刻が遅れると、起床時刻や朝食の摂取等、次の日の生活にも影響を及ぼすことがあります。さらに、睡眠時間の不足は、体の不調だけでなく、学習意欲や気力、集中力、感情のコントロールの低下にもつながります。

なお、本校では、毎週水曜日にノーゲーム・メディアコントロールの取組を行っています。自分の生活をコントロールできるようになることを目指し、テレビやゲーム等のメディアに接する目当ての時間を自分で設定し、守るように呼びかけています。テレビ動画・視聴やゲームにかけている時間を少し減らして、親子で会話をするなど、コミュニケーションの機会をより一層増やすように心がけましょう。

★挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだ。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。
- 友達関係に満足している。
- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- ▲自分には、よいところがあると思う。
- ▲難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。



学校では、児童が自分のよさを自覚したり、認められていると感じたりできるように、一人一人の可能性を積極的に見付けたり、学校生活における様々な学習や活動、行事等において、一人一人の活躍の場を設けるようにしたりする努力をしています。自己肯定感や自己有用感を育むことができるように、今後もより一層の工夫や努力を重ねていきます。

★学習習慣、学習環境等

- 家で自分で計画を立てて勉強している。
- 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
- 読書は好きだ。
- ▲学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をするか。
- ▲学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間読書をするか。
- ▲新聞を読んでいる。

学習した内容を児童が自ら見直し、計画を立てて学習を進め、次の学習へつなげることが課題と考えられます。今後は、学習指導において、児童が自ら学習内容を見通し、振り返る場面を充実したり、タブレット端末を効果的に活用して、個に応じた思考の保障や、協働した問題解決の場面を設定したりするなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進してまいります

家庭学習の目安となる時間は、学年×10分の学習に取り組むように設定し、本校でも、目安となる時間を達成できるように児童への指導と家庭への協力をお願いしています。今後も継続した取組を行っていきます。そこで、家庭学習「こつこつノート」で復習することができるように、自主学習の内容についてヒントを示しています。また、タブレット端末を使って、児童が自ら目標を立て、自分のペースで進めていくことができるAIドリル（eライブラリ）も導入しています。毎日宿題にしっかりと取り組み、学年の目当ての時間の学習ができるよう、ご家庭でも励ましてください。

今回、新聞を読む頻度と平均正答率には相関関係があると認められています。新聞には多彩な記事が載っており、たくさんの情報を得ることができるなど、多くのメリットがあります。毎日少しずつでも、新聞に目を通す習慣を付けていきたいものです。各教室にも新聞を配付しています。

★ICT を活用した学習状況

○学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレット等の ICT 機器を、どの程度使っているか。

○学習の中で、タブレット等の ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思う。

▲学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレット等の ICT 機器を、どの程度使っているか。

タブレット端末の導入に伴い、児童の興味・関心を伴う授業をより多く展開することができるようになりました。児童も、授業支援クラウド「ロイロノート」等を活用しながら、他の児童と考えを交流し一緒に学ぶなど、学習の幅も広がってきています。学ぶことの楽しさが、さらに増してきたようです。実際、多くの児童が、タブレット端末を活用することで、学習に対する意欲や授業に対する理解度が増していると考えられます。今後も ICT 機器の効果的な活用を進めて授業を工夫し、より一層児童の学びが深まるように努め、教職員自身の研鑽も積み重ねていきます。

★主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

○授業では、各教科等で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。

○授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。

○授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた。

▲授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。

▲学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。

▲学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。

本校では、「関わり合いを通して知識を広げ、よりよい生き方を考える子供の育成」を目指して授業改善に取り組み、互いに認め、関わり合う学習活動を大切にしています。学習は友達との学び合いの中でよりよく成立していきます。また、学校生活の中で、友達のよいところを見つけて、自分の言葉で伝えることができる『あさがおさいたタイム』を帰りの会で設定しています。毎日の授業の中でも「あさがおさいた」を進め、話す機会を増やすだけでなく、どのように話したらよいのかというスキルを身に付ける指導も行っていきます。そして、互いのよさを認め合う良好な人間関係の中で話し合い活動を充実させ、のびのびと学習に参加できるように、より一層努めていきたいと思えます。

★学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）

○英語の勉強は大切だ。

▲英語の勉強は好きだ。

▲将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う。

黒部市では、文部科学省から「教育課程特例校」の指定を受け、2005年から国際感覚とコミュニケーション能力をもつ児童生徒を育成するために「黒部国際化教育」事業に取り組んでいますが、2020年より3・4年生から正式に必修化されて「外国語活動」が始まり、5・6年生からは「外国語」という“教科”になりました。学習に困り感をもっている児童がいないか、教師が児童の実態をしっかりと捉え、指導計画や方法を立てていく必要があります。子供たちが「分かる・できた・楽しい」と感じられるよう、学習の見通しをもてるようにしたり、身に付いた喜びを実感したりできるような授業を目指した授業改善を、今後も全教職員で進めていきます。

教科ごとの状況と改善点

① 国語科について 【 】は学習指導要領の内容と設問番号

○優れている点

- 1 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。(思考・判断・表現・・・読むこと)
- 2 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使う。(知識・技能・・・言葉の特徴や使い方に関する事項)
- 3 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。
(知識・技能・・・言葉の特徴や使い方に関する事項)
- 4 文章の種類とその特徴について理解している。(知識・技能・・・言葉の特徴や使い方に関する事項)

●課題が残る点

- 1 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが分かるように書き表し方を工夫する。
(思考・判断・表現・・・書くこと)【国語 問題番号①二】
・【川村さんの文章】の□に、条件に合わせて、学校のコマ作りの問題点とその解決方法について書く。
- 2 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。
(思考・判断・表現・・・読むこと)【国語 問題番号②二】
・運動について書かれたパンフレットのページを読んで分かったメモの空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する。
- 3 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。
(知識・技能・・・情報の扱い方に関する事項)【国語 問題番号②三】
・相田さんが書きこみをした「栄養素の働き」に関するパンフレットを読み、相田さんの情報の整理の仕方として、最も適切なものを選ぶ。
- 4 日常よく使われる敬語を理解している。
(知識・技能・・・言葉の特徴や使い方に関する事項)【国語 問題番号③三】
・「〇〇さんが [ア] ことを、もう一度 [イ] いいですか。」の空欄に当てはまる尊敬語と謙譲語の正しい組み合わせを選択する。

【 対 策 】

《知識・技能》	《思考・判断・表現》	《学習全般》
<p>・漢字の学習では、読み方や字形を練習するにとどまらず、学習感想や振り返り、日記を書く場面等、漢字を使って文や文章を書く機会を増やすようにする。その際には、漢字の意味を考え、適切な漢字を用いることを意識することで、漢字を正しく使う力を身に付けることができるようにする。</p> <p>・敬語に関しては、初対面の相手や目上の相手に対し、「いらっしゃる」、「おっしゃる」、「お帰りになる」等の敬語を使うことができるよう、学校行事や来客があった時等と関連させて指導するなど、児童の日常生活の中で相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができるようにする。</p>	<p>・話合いの際には、話合いの目的や方向性を明確にすること、話の内容の共通点や相違点を分類しながら聞くこと、様々な視点から検討して自分の考えをまとめることを指導する。</p> <p>・資料を関連付けながら自分の考えが伝わるように書くためには、普段の授業で、資料や叙述を根拠にして考えを書くように指導する。また、他教科においても、図表やグラフから読み取ったことを基に、自分の考えをまとめて書く活動を継続的に取り入れることで、書く力を養うようにする。そのために、字数を制限する、キーワードを用いて書く、書く時間を設定するなど、条件に応じて書くことを指導する。</p>	<p>・書く相手や目的に応じて自分が書いた文章を読み直し、整えることができるような学習を取り入れていく。その際、文書作成ソフト等を用いるなど、ICTのよさを生かしながら読み手にとって分かりやすい文章にしたり、自分の伝えたいことをより明確にしたりすることを意識しながら、文章の構成を推敲できるように指導する。</p> <p>・新聞を読んだり、読書をしたりすることにより、活字に触れる機会を増やすように指導する。</p>

《国語に関連する内容の児童質問紙調査から》

- ・「国語の勉強が好きだ」とは感じていない児童が比較的多くいました。一方で、「国語の勉強は大切だ」「国語の授業の内容はよく分かる」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」「読書は好きだ」と答えている児童は多くいました。ただし、「新聞を読んでいるか」「学校の授業以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか」という面には課題が残ります。新聞や本を読むことで、言語能力だけでなく、論理的な思考等、様々な力を養うことができます。学校でも、家庭でも、児童が文章を読む機会を増やしていきたいものです。

② 算数科について 【 】は学習指導要領の内容と設問番号

○優れている点

- 1 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。 (知識・技能)
- 2 一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができる。 (知識・技能)
- 3 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができる。 (思考・判断・表現)
- 4 ()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる。 (思考・判断・表現)

●課題が残る点

- 1 伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の値を用いることができる。(思考・判断・表現・・・変化と関係)【算数 問題番号1 (2)】
 - ・椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く。
- 2 台形の意味や性質について理解している。(知識・技能・・・図形)【算数 問題番号2 (1)】
 - ・テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ。
- 3 正三角形の意味や性質について理解している。(知識・技能・・・図形)【算数 問題番号2 (3)】
 - ・切って開いた三角形を正三角形にするための角の大きさを考える。
- 4 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。(思考・判断・表現・・・図形)【算数 問題番号2 (4)】
 - ・平行な2直線上にあるときの、2つの三角形の面積が等しくなる理由を言葉や数を使って書く。
- 5 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる。 (思考・判断・表現・・・数と計算)【算数 問題番号3 (2)】
 - ・3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する。
- 6 百分率で表された割合について理解している。(知識・技能・・・変化と関係)【算数 問題番号4 (1)】
 - ・日常生活の場面と関連付けて、百分率で表された割合について、示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ。
- 7 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる。 (思考・判断・表現・・・数と計算)【算数 問題番号4 (2)】
 - ・運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める。
- 8 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる。(思考・判断・表現・・・数と計算)【算数 問題番号4 (3)】
 - ・2つのグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述する。

【 対 策 】

《知識・技能》	《思考・判断・表現》	《学習全般》
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の場面において百分率で表された割合について、具体的な数量関係に基づいて理解できるように活動を設定する。 ・図形の観察や構成等の活動を通して図形の意味を理解したり、図形の性質を見付けたり、図形の性質を確かめたりするように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・割合を用いて問題を解決するために、問題場面の数量の関係に着目し、基準量、比較量、割合の関係について図や式等を用いて表したり、考察したりするように指導する。 ・目的の図形をつくるために、どのような操作をすればよいか、辺の数や長さ、角の大きさ等に注目して、図形の意味や性質を基に、どのような図形ができるかを判断したり、見通しを立てたりすることができるようにする。 ・複数のグラフを組み合わせたグラフを読み取る力を身に付けさせるとともに、特徴や傾向を捉えたり、考察したりしたことを、グラフのどの部分からそのように考えるのかを明らかにして、他者に分かるように伝えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題文の全体を音読し、丁寧に読み取る習慣を付け、何を問われているのか確認をしながら学習を進めるようにする。 ・タブレット端末を積極的に用いながら、書く時のルール(算数の用語を用いる、最後に結論を書く、式や言葉、矢印を使って書く)や、書き表し方の方を示し、式の意味を説明したり、言葉で表現したりする学習に力を入れる。 ・友達の考えを説明したり、追体験する場を設定し、多様な考えのよさに触れたりすることができるようにする。1つの考えで立ち止まり、友達はどうの考え方なのか全体で共有する場を設けることで、それぞれの考えを理解することができるようにする。

《算数に関連する内容の児童質問紙調査から》

- ・「算数の授業は大切だ」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つ」と答えている児童が多くいました。一方で、「算数の勉強は好きだ」という点においては課題が残ります。児童が、算数の学習内容をしっかり身に付け、それらを既存の知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、効率的に問題を解決しようとしたり、日常生活の中で効果的に活用したりしながら、算数を楽しむことができるように、今後も指導を工夫していきたいと思えます。

日本銀行本店と富山事務所とオンラインで結んでの授業



9月21日（木）の5時間目に5・6年生を対象に、日本銀行本店と富山事務所とオンラインで結んでの金銭教育の授業を行いました。お札の平均寿命などをクイズ形式にして教えてもらったり、日本銀行の本店見学をVRで体験したり、とても有意義な時間でした。この後は、10月18日（水）に「親子で学ぶマネー講座」を予定しています。

5年生稲刈り体験



9月29日（金）に5年生が楽しみにしていた稲刈り体験をしました。JA、田んぼの持ち主の河村さんから、稲の刈り方を教えてもらいながら、慣れない稲刈り鎌を使いながら刈っていきました。前日の雨で田んぼがぬかるんでいて、思うように歩けなく悪戦苦闘していました。最後は、刈った稲をコンバインで脱穀をして終わりました。米作りの大変さを実感できたように思いました。

スーパーマーケットの見学に行ってきました

9月29日（金）に社会科の「お店で働く人」の学習として、3年生がスーパーマーケットの見学に行きました。お店の人や買い物をしている人にインタビューする等して、関心をもって学習していました。



登校時刻のお願い

児童玄関は、7：40に開錠します。開錠前にたくさんの児童が待っています。これからは、寒くなってくるので、子供たちには、7：45～7：50頃に登校するよう呼びかけています。ご家庭により事情もあることと思いますが、ご協力をお願いします。